

報道発表資料の配付日時 11月1日(火) 16時00分

発表項目 (行事名)	野鳥における高病原性鳥インフルエンザ発生状況について(陽性確定、オホーツク総合振興局紋別市ほか、道内2例目及び3例目)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 北海道大学が、調査研究の一環として10月23日に紋別市内で採取したガンカモ類の糞便109検体について、同大学で鳥インフルエンザ遺伝子検査を実施したところ、昨日(10月31日)結果が判明し、1検体から高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1亜型)が確認された旨、環境省より連絡がありました。(道内野鳥2例目)</p> <p>○ 北海道大学が、調査研究の一環として10月28日に札幌市内で回収した死亡野鳥(ハシブトガラス)1羽について、同大学で鳥インフルエンザ遺伝子検査を実施したところ、昨日(10月31日)結果が判明し、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)が確認された旨、環境省より連絡がありました。(道内野鳥3例目)</p> <p>〈今後の道の対応〉</p> <p>(1) 関係振興局は、環境省が指定した野鳥監視重点区域(採取地点から半径10km以内)において、大量死等の有無について監視を強化します。</p> <p>(2) 北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会構成員に対し、情報共有を行い、発生予防対策の徹底を図ります。</p> <p>(3) 回収地点から半径3kmの区域内にある家きん飼養農場(石狩管内)には立入検査を実施し、異状のないことを確認しています。また、現時点で道内の家きん飼養農場において、異状を認める報告はありません。</p> <p>※別添資料 R4(2022) シーズンの野鳥の鳥インフルエンザ発生状況</p>		
参考	○ 高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。		
報道(取材)に当たってのお願い	○ 高病原性鳥インフルエンザ発生防止のため、引き続き、家きん飼養農場における飼養衛生管理の自己点検や消毒の徹底について、積極的な報道による注意喚起をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	石狩振興局、オホーツク総合振興局	
担当(連絡先)	・環境生活部自然環境局野生動物対策課野生鳥獣係(担当者:車田) TEL:011-231-4111(内線24-384)ダイヤルイン:011-204-5205 ・農政部生産振興局畜産振興課家畜衛生係(担当者:中田) TEL:011-231-4111(内線27-791)ダイヤルイン:011-204-5441		

令和4（2022）年シーズンの野鳥の鳥インフルエンザ発生状況

（令和4年10月～）

本件	○例目	回収日 採取日	場所		検体情報			簡易 検査	遺伝子 検査	病原性
			振興局	市町村	検体の種類	種名	羽数			
	野鳥1例目	10/8	根室	別海町	糞便	ガンカモ類				高病原性
	疑い事例	10/23	オホーツク	斜里町	衰弱野鳥	ハシブトガラス	1	陰性	陽性	検査中
●	野鳥2例目	10/23	オホーツク	紋別市	糞便	ガンカモ類				高病原性
●	野鳥3例目	10/28	石狩	札幌市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1			高病原性